

令和元年5月4日の降雹被害に伴う当面の技術対策

令和元年5月8日

埼玉県農林部

キウイフルーツ

- 1 折損した新梢は、折れた部分まで切り戻す。
- 2 被害果実は原則として摘果する。果実の状態をよく確認し、無傷なものを残し、樹体の損傷程度に応じて着果量を制限する。
- 3 花腐れ細菌病や果実軟腐病の感染を防止するため、農薬を散布する。ただし、気温が高いときには、薬害の恐れがあるため注意する。

【防除例】

アグレプト水和剤 1000倍 (収穫90日前まで、4回以内)

トップジンM水和剤 1000倍 200~700ℓ/10a (収穫前日まで、5回以内)

- 4 落葉が激しい場合は、樹幹の日焼け防止のためホワイトンパウダーを塗布する。

＜農薬使用上の注意事項＞

- 1 農薬は、ラベルの記載内容を確認し、適正に使用してください。
- 2 農薬の最新情報は、埼玉県農産物安全課ホームページをご覧ください。